

4/9日
県議選

憲法と平和、くらしをこわす 岸田政権「ノー」の思い

ふじおか義英

藤岡よしひで

でしめそう

国政にも県政にもハッキリものを言い
対案しめし、住民を守る
「悪政の防波堤」として
全力をつくします

政府は勝手に決めるな
の声を一緒にあげましょう

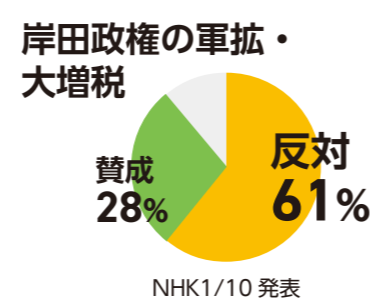
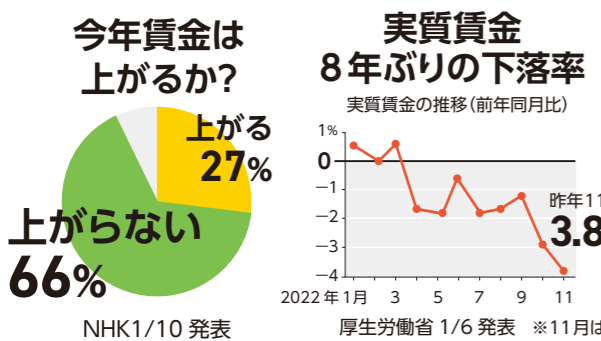
ストップ大軍拡・大增税
「戦争の準備」より「平和の準備」
「戦争にしないための外交」を

岸田政権は、安保政策の基本「専守防衛」を投げ捨て、アメリカと一緒に敵基地攻撃をすすめる大軍拡の方針を閣議決定。
国会や国民に説明することなく軍事費の倍増、大增税を決めています。
「敵基地攻撃」では、日本が報復攻撃の対象となり、「日本を守る」どころか、戦争に巻き込まれる危険が高まります。
いま必要なのは、国と国とのもめ事を、戦争にしないための、憲法9条を生かした外交戦略を進めることではないでしょうか。

広がる「軍備拡大反対」の声
タモリさんの「新しい戦前」発言や吉永小百合さんの元旦インタビューが話題になり、自民党重鎮の河野洋平元総裁や古賀誠元幹事長、山崎拓元幹事長なども、「専守防衛」を大転換する岸田政権に厳しい批判の声をあげています。

**賃金あげて、消費税さげると
なにより優先、みんなの生活**

自民・公明政権のもと、日本は30年も賃金が上がらない国になってしまいました。
コロナ禍と物価高騰でさらに生活はひっ迫、実質賃金は下がっています。
世界90を超える国が、コロナ対策で消費税(付加価値税)の税率を下げています。
「軍拡より、賃上げ・暮らし優先を」この声を広げましょう。



**「ジェンダー平等を
平和構築の中核に」**
(国連事務次長・中満泉さん)
20.11.27 産経新聞
戦争こそは最悪の女性への暴力であり、ジェンダー平等への逆行です。

「国民の声を聞かない 畜政治」をもちこむ 県議会と県政 では困ります

- 阿部知事は、「消費税減税は現実的ではない」と表明
給食費や福祉灯油も「市町村の仕事」と支援を拒否
- 「国民健康保険料の負担軽減を求める意見書」は**否決**
(2019年6月県議会)
- 「憲法審査会での改憲議論推進の意見書」を**強行**
(2020年12月県議会)
- 統一協会と接点もち、**政務活動費で行事に参加**
長野県でもこれまで20人の県議員が接点を持ち、11人は政務活動費という税金を使っていたことが報道されています。*自民18人(除名・元職含む)、県公明2人、他に自民予定候補者1人

統一協会と縁の切れない人・政党でいいのでしょうか

佐久市・北佐久郡区 定数4 1人は、「平和を広げる議席」「生活を守る議席」を

プロフィール **ライン公式** **公式HP**

●1971年大阪府堺市生まれ。
信州大学(農学部・森林科学科)卒業。大学では学生自治会執行委員長をつとめ、高学費の値下げ運動など学生の要求実現のために活動する。卒業後は住宅関連の会社に就職。
●2011年県議選当選。2期8年活動する。佐久市消防団第12分団所属(内山)。平和の花さく(佐久市)9条の会事務局長代理。現在、日本共産党佐久地区委員会県政対策委員長。
●趣味: ジョギング、サッカー、卓球、登山、カラオケ。好きなもの: わらび餅、コーヒー、苔。星座: 天秤座、血液型: B型。



日本共産党

県議 **2期8年** のときも、
そうでないときも

県民の声を県議会に届ける
かけ橋として

みなさんと力を合わせ
願いを実現してきました

- 子どもの医療費は窓口無料を実現
(佐久市、北佐久郡は18歳までに拡大)
- すべての学校にエアコン設置
- 被災者生活支援制度で半壊、中規模半壊にも支援
- 住宅用太陽光発電に補助
- 精神障がい者の医療費助成の拡大
- コロナ感染対策 検査と補償を繰り返し提案、中小企業者等特別応援金などを実現
- 新望月トンネルを明るくする
- 片貝川の河川改修
- 住民のみなさんと共に、産業廃棄物処理場問題、メガソーラー問題に取り組む

県民の目線で
行政をチェック

- 大北森林組合の補助金不正受給を一貫して追及
- 米軍機の低空飛行が航空法違反と解明

市民と野党の共闘で
政治を動かす

- 日本共産党は、市民と野党の共闘を誠実に追求、昨年の参院選も野党統一候補が勝利

佐久市・北佐久郡 **みなさんの声**を **再び全力**で県政へ届けます **ふじおか 義英**

県民の命と暮らし、最優先の長野県へ

子育て
支援

小中学校の給食費 北佐久郡では無料化を実現。佐久市も県の補助が実現すれば無料に

子どもの国保料 国保料の均等割りは、18歳まで無料に

子どもの医療費 500円の手数料を無くし、窓口完全無料に

大学 学費無償めざし、まず半額に
入学金制度の廃止、給付型奨学金の抜本的拡充

- コロナから命を守る、検査と補償の抜本的強化
- 保健所機能守り、医療機関への支援、医療・介護従事者の待遇改善
- 国保料と介護保険料の引き下げ ●加齢性難聴者の補聴器購入補助
- 保育士の待遇改善と低すぎる配置基準の見直し
- ジェンダー平等、男女の賃金格差是正、選択的夫婦別姓・同性婚の実現
- 「賃金が上がる長野県」「正社員が当たり前の長野県」の実現
- 気候危機打開、再生エネルギーへの転換、メガソーラーの規制
- 農業の価格保障、所得補償の充実。資材や肥料と飼料高騰への補助拡充
- 河川改修を促進し、洪水対策、防災減災の強化
- 中小企業支援を大幅に増やし、最低賃金1500円の実施
- 消費税減税、インボイス中止 ●県の責任で佐久創造館の存続

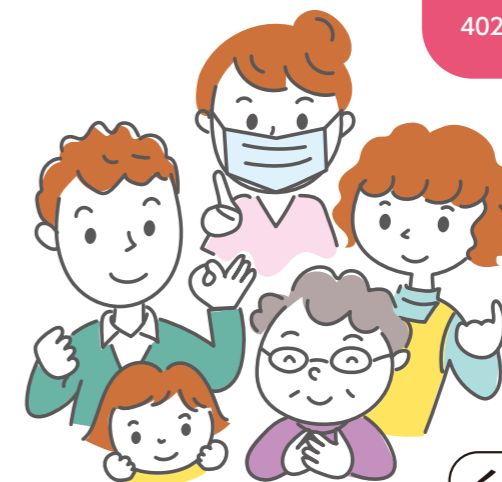
負担をゼロへ

日本共産党



財源は
あります。

長野県の年間予算は**1兆円**余。自由に使える基金はコロナ禍のもとでも増え続け**640億円**もあります。(財政調整基金402億円、減債基金238億円：R3年)



再び県議会に行けば、すぐに働けます

くらしの相談はこちらまで
困ったときは日本共産党

0267-62-7314